

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大門小・中・中等教育学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1) 自律的に自分の学びを進める資質能力 (2) 友達と考えを伝えあうことで学びを深め合う資質能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1) 児童自身が学びの連続性を意識できるよう学習を振り返る活動を行う。【単元終了後】 (2) クラウドを活用した授業づくりに取り組むことで、互いの考えを可視化したり共有化したりする。 また、共通点や差異点に気づかせ、話し合う意欲を高める。【各単元】

ざらざら (構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		調査の振り返り(4月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		調査結果分析(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		さいたま市学習状況調査(5月) <小1~中3> (11~12月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		① 学校全体での取組 ② 単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③ 中間評価を経ての取組 ④ 調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	調査結果分析(7月)
↓		
学力向上策の 見直し		中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所